

乙塚古墳 B-2



定林寺跡 A-5



大富館跡 B-3



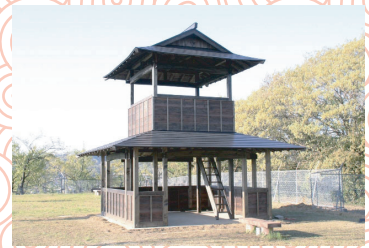
浅野館跡 B-4



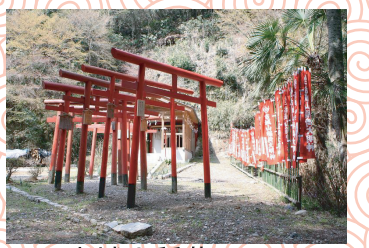
明治天皇御小休所跡 D-13



南宮神社 C-14



高山城跡 D-14



古城山稲荷 D-15



拡大図

乙塚古墳
乙塚古墳には県下最大級の規模を誇る石室があり7世紀前半から中頃にかけての築造であると考えられています。

元屋敷陶器窯跡
元屋敷陶器窯跡は美濃陶加藤景延が初めて築いた登窯跡で織部の里公園内に保存されています。

御幸十王堂
十王堂の十王尊は江戸時代初期の作と伝えられ閻魔大王を中心に十体が保存されています。

隠居山
隠居山からは1600万年前の哺乳動物パレオパラドキシアの完全骨格の化石が見つかりました。

大富館 浅野館
清和源氏の流れを汲む源氏房は平安時代に美濃に勢力を伸ばしその孫光信は土岐郡大富に館を設けたと言われています。この一族を美濃源氏と言います。その孫光衡は一日市場(瑞浪市)に館を構え土岐氏を号しました。光衡の子光行は鎌倉時代、承久の乱を期に一日市場から浅野に館を移しました。光行の孫頼貞は室町時代に美濃国守護に任じられ大富に再び館を設け土岐氏の本拠地となりました。

定林寺跡
瑞雲山定林寺は鎌倉時代末に土岐頼貞が鎌倉より高僧を招いて開基した寺で、土岐家の隆盛に伴って栄え、日本の寺院十刹の八位に数えられました。戦国時代に武田軍の侵攻により焼失しました。



馬除場跡 G-6



五智輪さま(明楽寺跡) F-9



馬頭観音 D-3



石仏群 G-11



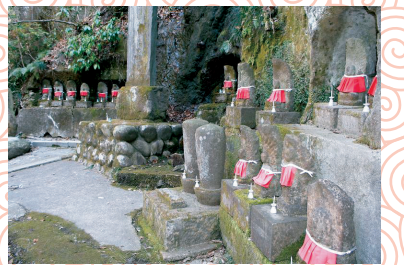
高山公園 G-11



聖観世音菩薩(慈徳院) G-12



慈徳院に残る武家屋敷門 G-12



穴弘法の石仏群 D-16